

ジュエリーミュージアム

甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階やまなしプラザ内
TEL 055-223-1570 FAX 055-223-1572

企画展 アイデアをかたちにする職人 ひと

日本一のジュエリー産地山梨。昔も今も山梨の宝飾産業を支えているのは、貴金属加工、宝石研磨、貴石彫刻の技術を受け継いだ職人たちです。

今回は収蔵品を中心に、貴金属加工職人とその仕事を紹介します。県内のデザイナーと職人の自由な発想から生み出された作品と、アイデアを形にする職人たちの確かな技をご覧ください。

開催期間／～6月13日(月)
観覧料／無料



リング〈死と再生〉



リング〈Muse〉



リング〈雪・月・花〉

県立考古博物館

甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3881
FAX 055-266-3882

春季企画展 お肌のキレイな縄文土器 ～一の沢遺跡と酒呑場遺跡～

一の沢遺跡と酒呑場遺跡から出土した縄文土器のきめ細やかな土肌は、縄文人が精選された胎土を丹念に磨き込んでいたことを物語っています。山梨の良質な土が生み出した美器の面をご覧ください。



顔面把手付土器・顔面部
(重要文化財 一の沢遺跡出土)

開催期間／4月23日(土)～6月12日(日)
観覧料／無料

富士山科学研究所

富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-1
TEL 0555-72-6203
FAX 0555-72-6183

森のガイドウォーク

「富士山がつくり出した森の探検」をテーマにアカマツ林を散策。富士山の成り立ちや動植物の特徴などの説明を聞きながら、森の素晴らしさを体感できます。ポストカードのプレゼントもあります。



専門解説員が富士山の成り立ちについてパネルを使って分かりやすく説明

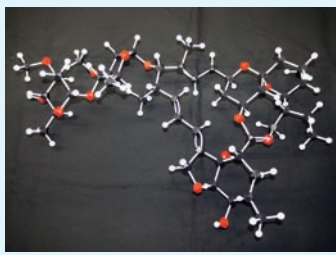
開催日時／4月29日(金・祝)～5月8日(日)、5月中の土・日
開催時間／①10:00 ②11:00 ③13:00 ④14:00 ⑤15:00
所要時間は約50分
参加料／無料

県立科学館

甲府市愛宕町358-1
TEL 055-254-8151
FAX 055-240-0168

サイエン旬パネル展 ミクロワールド～身近な微生物たち～

ノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智氏の研究概要や、私たちの生活に深く関わっている微生物について紹介します。期間中には、講演会やワークショップなど数多くのイベントも予定しています。



大村氏が開発に携わった医薬品「イベルメクチン」の分子模型

開催日時／～5月8日(日)
観覧料／入館料のみでご覧になれます。

森林総合研究所

南巨摩郡富士川町最勝寺2290-1
TEL 0556-22-8111
FAX 0556-22-8074

森の教室 「植物画の世界」 ～ボタニカルアート展～

植物の特徴を正確に表現しつつ、芸術性も兼ね備えることが求められる植物画。国立科学博物館筑波実験植物園が主催した「第31回植物画コンクール」の入賞作品を展示します。



「クサイチゴ」片木千鶴子
国立科学博物館長賞

開催期間／4月9日(土)～5月8日(日)
観覧料／無料

県立美術館

甲府市貢川1-4-27
TEL 055-228-3322 FAX 055-228-3324

ルネサンスの巨匠 ミケランジェロ展

“神のごとき”芸術家とたたえられたミケランジェロ・ブオナローティ。石の塊から《ダヴィデ》などを彫り出した彫刻家であり、システリーナ礼拝堂に《最後の審判》など壮大な物語を描いた画家であり、《サン・ピエトロ大聖堂》の造営などを手掛けた建築家でもありました。

今回は、彼の創造の軌跡を、カーサ・ブオナローティ所蔵の素描や建築設計図面、書簡などの貴重な作品によってたどります。

開催期間／4月23日(土)～6月12日(日)
観覧料／一般 1,000円 大学生 500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



《システリーナ礼拝堂天井画(クマエの巫女)のための頭部習作》1508-10年
トリノ王立図書館蔵 © Torino, Biblioteca Reale



《背を向けてひざまずく男性裸体像習作》1540年頃 カーサ・ブオナローティ蔵
© Associazione Culturale Metamorfoosi and Fondazione Casa Buonarroti

県立博物館

笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055-261-2631 FAX 055-261-2632

開館10周年記念特別展 武田二十四将 ～信玄を支えた家臣たちの姿～

甲斐国から全国有数の戦国大名に成長した武田氏。その発展は武田信玄個人のみではなく、多くの家臣の活躍によって実現したものです。

今回は、信玄を支えた家臣として後世までその名が知られる「武田二十四将」を中心に、彼らの古文書、武具や肖像などを通してその実像に迫ります。また彼らの子孫が江戸時代以降にどのような活動をしていたのかも併せて紹介します。

開催期間／～5月23日(月)
観覧料／一般 1,000円 大学生 500円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



諏方氏ゆかりの鎧・本小札紅糸威胴丸
(諏訪市博物館蔵)



武田二十四将図

県立文学館

甲府市貢川1-5-35
TEL 055-235-8080 FAX 055-226-9032

特設展 辻嵐外 甲州の近世俳人

江戸時代後期に活躍した俳人、辻嵐外(つじらんがい) (1770～1845年)は、越前国敦賀で生まれ、青年時代から没年までを甲州で過ごしました。超俗洒脱の人として知られ「嵐外十哲」をはじめとする多くの門弟を育て、その後の甲州俳壇に大きな影響を与えました。味わい深い書画を多く残した嵐外。親しみと共感を呼ぶ句と書画を紹介します。

開催期間／4月29日(金・祝)～6月19日(日)
観覧料／一般 320円 大学生 210円
※各種割引などあり。詳しくはお問い合わせください。



「おもしろき世を一はいにふじの山」
自画賛 軸装 (個人蔵)



「きかさじとするはつ声か子規(ほととぎす)」
自画賛 軸装